第２学年　学年通信　　平成 30 年（2018 年）７月１８日

Clover

第 50 号

『トライやる・ウィーク体験発表会より』

発表会が大雨による警報のため９日に延期になりました。大西脳神経外科、江井島町づくり協議会、鍵庄の３つの事業所から私たちにむけてメッセージをいただきました。また、中学校からも業種別での発表をしました。

『夢を叶えるために』　１組

私は、フルーツバスケット保育園で職業体験をしました。私は、幼稚園の頃から保育士になりたいと思っていました。その保育士になるという夢を叶えるために、5 日間、保育園で先生方の動きを見て、学ばせていただいていました。仕事の大変さは楽しさ、様々なことがわかりました。改めて、保育士という仕事は大変な仕事だと感じました。常に、次の事を考える。安全を確保する。ペースを合わせるなどを考えておかなければならないことがたくさんあります。さらに、保護者の方とのバランスのとり方も大変だと教えていただきました。しかし、嬉しいこともたくさんあります。子どもたちが笑顔になっている時や、喜んでいる時、成長がみられた時などです。大変なこともたくさんあるけれど、嬉しいこともたくさんあるので、先生方は保育士を続けているのではないかと思います。私は、この 5 日間でますます保育士になりたいと思いました。大変なこともたくさんあるけれど、嬉しいことがたくさんあり、やりがいのある仕事で、とても良い仕事だと思います。私は、子ども達の素直でキラキラとした瞳が忘れられません。あの瞳をまた、見るために、5 日間で学んだ事、教えていただいたことをこれからの自分へ活かしたいと思います。

『改めて学び、得たこと』　１組

僕は、トライやるウィークを終えて「今はこんなに色々な職種があるのか！？」と驚きました。そして、皆で協力しないとできない事がほとんどだと気付き、多くの人が協力し、助け合って仕事や活動が成り立っていくんだなと思いました。僕が行った事業所は、事業所というよりも地域団体で、ため池協議会のある活動に参加し、手伝わせていただきました。ある活動とは、ため池の法面に絵を描くといったことです。活動は主に、図案の絵を法面に写していくことでした。僕が活動していく中で、あることに気が付きました。それは、協力しないと絵が完成しないという事です。大人数で相当の場所に分けて絵を写しているので協力し、コミュニケーションをとらないと、線や形、色が異なり、綺麗な絵にならないので、コミュニケーションをとりながら絵を描きました。それと、着色をしているときに、違う色のペンキを塗ってしまったり、ペンキを１滴落として、汚してしまったときも、助け合って、色を塗りなおしました。他には雨が降り、着色できない時には大人に協力してもらい、事務所を借りてため池の勉強をしたりして、とてもお世話になりました。このトライやるウィークは、具体的な仕事の体験も主旨かもしれないけど、僕は協力、コミュニケーションがあり、初めて仕事、活動が成り立つんだと気付き、学びました。この経験を無駄にしないように、これから頑張りたいです。

『トライやる・ウィークを終えて』　２組

トライやる・ウィークで僕は、トヨタ自動車に行きました。行って思ったことは、お客様のことをすごく考え仕事もしているということです。車の整備のオイル交換の時、交換する時の順番がしっかりと決まっています。それはオイルをすぐに入れておけるようにするようにしないといけないからだそうです。その理由は先にオイルを出してしまうとフタの部分が開けられなくなった時に交換することができなくなり、お客様を待たせてしまうことにつながるからと教えてもらいました。そしてお客様が来店される時や、店を出る時には、手を止め、お客様に向かってしっかりと挨拶をすることが大切だと教えてもらいました。そういうことを１つ１つしっかりとすることが大切だと教えてもらいました。そして、トライやる・ウィークを終えて、仕事は大変で、しんどかったけど達成感があり、すごく楽しかったなと思いました。仕事は初めどんな感じなんだろうと思っていたら、いつもの学校生活とは全然ちがい、すごくしんどいなと思いました。けど、1 日で自分はしんどいなと思ったのに、それを大人は毎日毎日働いているのですごいなと思ったし、お金を稼いで、自分たちを育ててくれている親に感謝しないとなと、思いました。5 日間、仕事をして楽しさ、しんどさ、大切さなどがわかり、普段できない良い経験ができたので、この経験を将来に活かしたいです。

『見えない尽力』　２組

私は鍵庄さんでトライやる・ウィークを体験させていただきました。そこで、社会貢献を行うということ、人の役に立てることへの感謝を実感することができました。特に、仕事場では、「お客様のために」という一心で話し合ったり、作業を行っていて仕事に臨む姿勢がとてもすごいなと思いました。また、店舗作業では、店に来店される様々な年代の方に接客をしました。そこでは、常に周りを見て動かなければならなかったり、先を読んで作業をする重要性が身にしみました。他にも、海苔についての学習や実際に海苔を使用しておにぎりの製作等もさせていただき、とても充実した一週間を送ることができました。

その中で常に感じていたのが、裏側で利用者の方が気づかないような仕事をされている人の努力の大きさです。1 つの製品を日々、何気なく使用していたけれど、その製品ができるまでに多くの人々が手を加え、今ここにあるのだということが深く心に刺さりました。そして、職場体験を重ねていく中で、「働く」というのは、収入を得るということではなく、その行いを通して、自己の成長や相手を思いやる気持ちを形成していくことだと分かりました。それが、社会へ貢献するということに繋がっていくのかなと思いました。この学びを学校生活にも応用し、人の役に立てる人に成長していきたいです。

『テレビの裏側』　３組

僕は、トライやるウィークで、明石ケーブルテレビに行きました。普段何も考える事なく見ているテレビ番組が、どのように作られているのか知りたかったからです。この一週間、取材、編集、キャスター体験などたくさんの経験をさせていただきました。その中で特に印象に残っていることが二つあります。一つめはＣＭ作成です。たくさんの写真を短い時間にまとめたり、音楽、効果音、テロップなどを使って作るのが楽しかったからです。

《次号に続く》